



平成21年10月30日

各 位

会社名 第一実業株式会社  
 代表者名 取締役社長 矢野邦宏  
 (コード番号 8059 東証第1部)  
 問合せ先 IR・広報室長 池田俊郎  
 (TEL. 03-5214-8613)

業績予想値と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年7月30日に公表いたしました平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の業績予想値と比較して、本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、平成22年3月期通期の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と決算値との差異

(1) 連結業績予想値と決算値との差異(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	40,000	0	0	△200	△3.84円
決算値(B)	35,182	△230	△212	△434	△8.33円
差異(B-A)	△4,817	△230	△212	△234	—
増減率(%)	△12.0	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成21年3月期第2四半期)	76,801	2,430	2,561	1,330	24.11円

(2) 個別業績予想値と決算値との差異(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	35,000	200	300	100	1.92円
決算値(B)	31,899	202	316	74	1.44円
差異(B-A)	△3,100	2	16	△25	—
増減率(%)	△8.9	1.5	5.5	△25.1	—
(ご参考)前年同期実績 (平成21年3月期第2四半期)	71,496	1,836	2,029	1,076	19.52円

## 2. 平成22年3月期通期業績予想の修正

### (1) 連結業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	89,000	800	900	300	5.76円
今回修正予想 (B)	87,000	750	750	150	2.88円
増減額 (B-A)	△2,000	△50	△150	△150	—
増減率 (%)	△2.2	△6.3	△16.7	△50.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	127,285	2,893	3,092	1,384	25.76円

### (2) 個別業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	80,000	1,100	1,300	700	13.44円
今回修正予想 (B)	78,000	1,000	1,200	600	11.51円
増減額 (B-A)	△2,000	△100	△100	△100	—
増減率 (%)	△2.5	△9.1	△7.7	△14.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	117,193	2,423	2,748	1,495	27.83円

## 3. 業績予想修正の理由

当社グループを取り巻く環境は、米国発の金融危機による経済悪化の影響が根強く、内外の景気対策や在庫調整の進展により輸出、生産の一部に回復の兆しが見え始めたものの、雇用・所得環境の悪化による個人消費の落ち込み、企業収益の悪化や厳しい資金調達環境を背景に企業の設備投資の低迷など、依然として厳しく先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の売上高は、前回（7月30日）公表の業績予想値との比較で連結・単体とも約1割減少し、前年同期との比較では半減する結果となりました。利益面につきましては、単体決算では予想値をほぼ達成しましたものの、連結決算では営業利益、経常利益、四半期純利益とも予想値を約2億円下回る結果となりました。

今後につきましては、依然として予断を許さない状況にありますが、一部に企業収益の回復など明るい材料も見受けられることから、平成22年3月期通期での売上高は連結・単体とも前年との比較で7割弱となる見込みです。利益面につきましては、前回公表値を若干下回る水準を予想しております。

以上